

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		中学校施設維持管理事業				事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 030101000144	
総合計画の施策名		0301 学校教育の充実				単独/補助		単独	
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				主要事業		所属課 090101	
施策名		01 学校教育の充実				対象外		学校教育課	
基本事業名		01 安心安全な教育環境づくり				市長マニフェスト		対象外	
						未来PJ事業		対象外	
						合併建設計画事業		対象外	
						事業期間		グループ 企画・営繕グループ	
予算科目		財務会計上の位置付け				単年度繰返し (年度~)			
会計		一般会計				単年度繰返し (年度~)			
款		中学校管理事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
項									
目									
事業									
細									
01									
10									
03									
01									
02									
00									
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>中学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注。</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>中学校施設維持管理のため、修繕費、保守点検業務委託費、メンテナンス業務委託費、設計見積費、工事請負費等。</p>	<p>中学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
中学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注	中学校施設維持管理業務委託費	千円	9,248.00	9,263.00	12,896.00	12,896.00	12,896.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市立中学校	市立中学校	校数	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市立中学校の教育環境の改善、充実	中学校施設修繕及び工事費、備品購入費	千円	266,081.00	14,265.00	72,720.00	72,720.00	72,720.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	19,580	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	317,944	56,232	99,489	119,069	119,069	0
事業費計(A)	千円	317,944	56,232	119,069	119,069	119,069	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	1,152.00	1,154.00	1,154.00	1,154.00	1,154.00	
	人件費計(B)	千円	3,342	3,348	3,348	3,348	3,348	
トータルコスト(A)+(B)		千円	321,286	59,580	122,417	122,417	122,417	

27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
11 需用費	30,734		11 需用費	40,460	
12 役務費	1,826		12 役務費	2,019	
13 委託料	9,263		13 委託料	12,896	
14 使用料及び賃借料	8,545		14 使用料及び賃借料	8,474	
15 工事請負費	3,745		15 工事請負費	55,080	
18 備品購入費	2,119		18 備品購入費	140	
合計		56,232	合計		119,069

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	中学校施設維持管理事業	事務事業No.	30101000144	所属課	学校教育課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 中学校建設時から。現状としては、校舎等の老朽化が進み、修繕を必要とする箇所が多岐にわたり、増えている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 老朽化の対応及び学校数の見直し。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	特になし。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 中学校施設を改善していくことは、学校教育の充実の基本施策である安心安全な教育環境づくりに結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市立中学校施設であるため、市が行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 施設維持管理に関することから施設が存在する限り継続するものであり、現時点では向上余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教育施設環境が悪化する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 特になし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費については、統廃合により小学校数を減らすには難しい。人件費については、施設に対する知識と経験が必要とされるため委託等は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市立中学校施設である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	学校施設の維持管理は、市の業務であるため、施設の老朽化により、業務量が増加している。今後、適正配置等が進まなければ、対象物件が減少することは無いため、人員の適切な配置が必要である。																												
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																													
<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																													
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																													
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持		○	×																										
	低下		×	×																										
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。		(6) 事務事業優先度評価結果																												
		成果優先度評価結果	③																											
		コスト削減優先度評価結果	⑦																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>